

## メタン発酵事業者としてスウェーデン市場に参入

日立造船株式会社の100%子会社 Hitachi Zosen Inova AG（スイス、CEO：Bruno-Frédéric Baudouin、以下、HZI）は、スウェーデン ヨンショーピング市内の湿式メタン発酵施設・ガス充填設備 JEBIO 1 を買収し、メタン発酵事業者としてスウェーデン市場に参入しました。今後スカンディナビア地域で2施設目となる Kompogas<sup>®</sup>技術を用いた乾式メタン発酵プラントを建設し、自社設備として運営する予定です。

### ■本件の詳細

HZI は JEBIO 1 をヨンショーピング市から買収したことにより、スウェーデンにおけるメタン発酵事業者となりました。今後の2年間は本施設を運営し、その間に乾式メタン発酵技術 Kompogas<sup>®</sup>を用いたプラントを同市内に建設します。建設予定のプラントでは、乾式メタン発酵槽2基により年間40,000トンの有機性廃棄物（生ごみ・剪定枝等）を処理します。生産したバイオガスは、HZI BioMethan 社\*の設備により高純度のメタンガスに精製され、輸送用燃料（CNG）として販売します。発酵過程で生じた固形堆肥は市が引き取り、液肥は地元農家に販売する予定です。

\*HZI BioMethan 社：HZIの子会社。Hitachi Zosen Inova BioMethan GmbH（ドイツ）

スウェーデンは、カーボンニュートラル推進で世界をリードしていますが、新プラントの建設、HZIのKompogas<sup>®</sup>技術およびHZI BioMethan社のバイオガス精製技術によってヨンショーピング市内の公共輸送機関は事実上生ごみ・剪定枝等由来のエネルギーで運営可能になります。HZIは今後も事業を通じて温室効果ガス排出削減に貢献していきます。

### ■建設予定 Kompogas<sup>®</sup>プラントの概要

1. 廃棄物処理量：有機性廃棄物（生ごみ、剪定枝等）40,000トン/年
2. ガス生成量：バイオガス35GWh/年
3. 残渣処理：堆肥化(固形堆肥、液肥)
4. 建設地：スウェーデン王国 ヨンショーピング市
5. 稼働開始：2020年末

### ■HZIのコンポガス技術 Kompogas<sup>®</sup>について

乾式メタン発酵の代表的な手法の1つ。生ごみなどの有機性廃棄物を嫌気性状態で約55℃の温度に保ち、微生物の働きによりバイオガスを発生させます。処理済み残渣は堆肥として農業や園芸資料に利用されます。HZIのKompogas<sup>®</sup>は世界30カ国以上の国々で商標登録されています。

(終)